

平成28年度 学校評価報告書

4段階評価：A—十分に達成できている状況 B—おおむね達成できている状況 C—どちらかといえば達成できていない状況 D—ほとんど達成できていない状況

評価の数値 (%) = 総数における肯定的意見 (4・3) の割合 \* (0) わからないは除く [4—十分にできている 3—大体できている 2—やや不十分である 1—不十分である 0—わからない]

教育目標	1 真理を探究し正義を愛する生徒を育成する	2 個性豊かで社会的資質に富んだ生徒を育成する	3 健康的で勤労意欲旺盛な生徒を育成する
------	-----------------------	-------------------------	----------------------

重点目標	学校評価質問項目	教職員評価	保護者評価	生徒評価	自己評価		学校関係者評価	
					評価	概評と改善策	評価	提言
「学ぶ力」や「学んだ力」を育成するための授業改善をめざす	本校には、学習にきちんと取り組める施設・設備が整えられていますか。	89.7	94.4	96.6	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の主体的な学習活動を意識した授業が実施され、各教科での取り組みが進んでいる。教科主任会を通して新しいスタイルの授業についての情報やカリキュラムについてなどの情報も共有されており、来年度は効果的な授業デザインの研究を進めていくことを目標とした。そのためには、公開授業や研修報告などを通じて、より一層の研鑽を重ねていく必要があるため、校内研修のあり方について検討を加えたい。また、アクティブラーニング型の授業等をより浸透させて行くためには、ICT活用型の授業に向けての設備、備品を早急に整える必要がある。</li> <li>・課題については、生徒の意欲を引き出し、それに応えることのできる設定、分量になるよう、今後も留意・調整をしていくとともに、学力向上へ向けて、形式も含めて課題そのものの在り方の検討を行っていききたい。</li> <li>・今年度から大田市教育委員会との連携事業が始まったが、コーディネーターと連携した地域課題発見解決型の授業開発を行い、教科の授業だけでなく、地域連携型の授業をとおしても、主体的な学びに向けての働きかけを行っていききたい。</li> <li>・図書館の活用について、学習に利用する生徒の数は、2・3年生を中心に大幅に増加した。蔵書は充実していると思われるので、今後は、生徒の興味をひくような内容になるようPR活動を工夫していく。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近に大学がない限られた環境の中で、進路意識をどれだけ高めることができるかが課題である。ICTの活用や大学での研修を通して、生徒自身が広い視野に立ち、自分の進路に対してこだわりを持って目標を達成しようとする意欲や姿勢を育ててほしい。</li> <li>・高校の魅力化を考えた時に、小～高へと縦のつながりを意識してもらいたい。</li> <li>・キャリア教育について、小学校から積み上げてきていると思うが、小・中・高同一のテーマで、それぞれの年代に応じて生き方についての考えを育む仕組みがほしい。</li> <li>・学ぶことについても、「なぜ勉強しなければならないか」について階段を積み上げるようにステップアップの連携ができないか。</li> </ul>
	生徒が宿題や課題等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	82.1	92.4	89.7				
	本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに応えていますか。	89.7	85.4	84.3				
	本校では、生徒が主体的に学ぶことができるような取組みや工夫が推進されていますか。	66.7						
	図書館は生徒にとって利用しやすいと思いますか。	79.5		83.5				
	本校の図書館の蔵書構成（自分が読みたいような本、調べ学習に役立つ本等）は充実していますか。	75.0		75.6				
	「図書館だより」等の図書館からの発信は、読書についての興味関心につながっていますか。生徒の学習習慣や生活習慣の確立のために努力していると思いますか。	73.7		60.7				
地域・家庭とともに成長する学校をめざす	服装・髪髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	87.2	94.5	84.5	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣や集団生活としての規律は概ね守られているが、将来の社会人として、マナーを身につけたものとするためには、今後も教職員全体で指導していく必要がある。部活動やボランティア活動に関しては課題を検証しつつ、さらに充実感の得られるものにしていくとともに、活動の内容についてホームページなどを利用して広報を行っていききたい。</li> <li>・進路に関する保護者への説明会は、毎回学年の7割近い保護者に参加してもらい、特に3年生保護者対象でセンター試験を中心とした内容の説明会は、タイムリーな実施で高い評価を得ている。今後も保護者、生徒にとって必要な情報を必要な時に提供できる形の説明会、講演会を実施していききたい。</li> <li>・キャリア教育を通じて、広く社会をとらえる視点を養うとともにHR活動を通じて進路意識を高める働きかけを行った。今年度後半から地域連携型のキャリア教育を実施した学年もあったが、生徒自身が意識的に自らの生き方について考えることができるように、地域課題についての視点も踏まえて、3年間を見通したキャリア教育の再構築が必要である。また、事業の実施に当たっては、生徒自身の課題とその克服について考えさせる中で、主体的に取り組ませるような工夫の検討が必要である。</li> <li>・PTA総会の内容については、アンケートを取り、より有意義なものにしていきたくと考えている。授業公開日については、堅調であったが、多くの保護者に参加してもらえよう、日程等を工夫したい。</li> <li>・魅力化コーディネーターの配置により、「つむぎ」の発行など学校からの発信は拡充されたと考えている。今後、可能であれば、配布先を広げていきたいと考えている。また、HPの再構築の作業を現在行っており、来年度6月頃のアップを目標としている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携について、生徒が地域に出ていくスタイルの連携だけでなく、地域に協力してもらい「地域の教育力」の活用という視点でも連携を考えてみてはどうか。</li> <li>・土曜補習についての生徒評価が低いことについて、実施していることはよいことであるが、やってよかったと生徒が思うような実感につなげるような取り組みや、土曜補習に対する生徒の意識づけが必要である。</li> <li>・学力の上位層の生徒が更に上のものを学びたい、+αの勉強をしたいと思ったときに、ICT機器を活用した自学自習のスタイルがそれに応えることになるので、大いに推進してもらいたい。</li> </ul>
	生徒、保護者は部活動の内容について満足していると思いますか。	87.3	71.7	74.3				
	本校は、学園祭の計画・運営など生徒会の活動が盛んになるように支援していますか。			74.7				
	本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	78.4	62.5	73.5				
	本校は、保護者進路説明会等を通じて、保護者に進路に関する情報を伝えていますか。	89.7	84.2					
	本校は、進路講演会や学年集会等を通じて、生徒に進路に関する情報を伝えていますか。	94.6		84.9				
	本校のキャリア教育（進路学習）は、生徒に自分の生き方について考えさせていますか。	57.6	71.3	75.1				
	土曜日補習（全学年対象）や放課後補習（3年対象）は、生徒の学力向上に役立っていますか。	83.3	84.6	65.7				
	本校は、生徒それぞれの進路志望の実現に努めていますか。	91.9	71.8	86.0				
	PTA総会、授業公開日など保護者対象の行事は、有意義なものになっていますか。	52.8	65.0					
本校は、「泰山木」・大田高ホームページ・学年通信等で、学校の様子を伝えていますか。		86.8	76.5	53.3				
自他の生命や人権を大切に生徒をめざす	本校は、生徒の安全確保を適切に行っていますか。	92.1	84.6	84.7	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育の内容の拡充や、防災避難訓練を通して安全への意識を高めた。今後、さらに安全、安心な校内環境の整備に努めたい。</li> <li>・支援が必要な生徒に対しては、様々な機会をとらえて情報の共有化を図り、支援を組織的に行うことができた。生徒面談を通して必要と思われる生徒には、スクールカウンセラーによる教育相談も担任等から紹介してもらえるようにした。実際の相談件数も多く、活用は十分にできていたと考える。今後はカウンセリングの情報や保健情報の発信をタイムリーに行えるように工夫をしていきたい。</li> <li>・生徒がお互いを大切にできるよう、いじめに関するアンケート調査や意識調査を基に実態を踏まえながらHR活動等の教育活動を行った。今後も、生徒同士の関係性や日常の言動などもふまえ、生徒の特性やその時々に応じた声掛けや指導の在り方についての研究や情報の共有を行っていききたい。また、「いじめ防止基本方針」について見直しを行い、組織としての考え方を共有し、またその内容を周知することにも努めたい。</li> <li>・面談の機会をとらえては、保護者の声を聴き、必要な内容については関係する分掌等と協議するなどして相談に応えようと努めたが、相談できる雰囲気や面談の進め方については工夫が必要であると感じている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの情報の中で、子どもたちに伝わっていないこと、保護者に伝わっていないことを精査し、発信、周知、告知の仕方を検討してもらいたい。</li> <li>・今年度から発行が始まった「つむぎ」で、学校の様子がわかりやすく発信されているが、新聞にも報道を依頼するなどして様々な形での発信を行うことも意識してもらいたい。</li> <li>・スクールカウンセラーの活用については、保護者自身が利用できるような伝え方も工夫してもらいたい。</li> <li>・保護者面談で保護者の声のきき方もくふうしてもらい、肯定的評価が上っていくことを期待したい。</li> </ul>
	スクールカウンセラーの利用について周知されていますか。	77.8	74.9	77.1				
	本校の保健室の生徒への対応は適切ですか。	92.1	91.1	89.8				
	本校の保健講話や保健室からの情報発信は、自分自身の健康管理に役立っていますか。			69.1				
	本校では、自分も、まわりの人も大切にしようとするような教育活動が行われていますか。	94.6	73.1	76.8				
	本校は、何か心配なことがあれば保護者が気軽に相談することができる学校であると思いますか。	81.8	62.6					
本校は、面談等を通して生徒理解に努めていますか。		97.4	80.6	84.6				
総合的に見て、本校に入学して良かったと思いますか。			95.3	81.8				